

- ① … 訃報～松本暁司元会長の功績を振り返る
- ② … 特別座談会「裾野を広げる」～SFAと共に～
浦和レッズ・立花洋一代表取締役 / 大宮アルディージャ・森正志代表取締役
- ③ … 国体関東ブロック大会～茨城国体振り返り 成年男子 女子
- ④ … 国体関東ブロック大会～茨城国体振り返り 少年男子 第74回国民体育大会サッカー競技
- ⑤ … 第74回国民体育大会サッカー競技 大会記録●県内大会 1種社会人・3種・3種中体連
- ⑥ … 大会記録●県内大会 女子 大会記録●県外大会 1種・自治体・社会人・2種高校
- ⑦ … 大会記録●県外大会 2種クラブ・3種中体連・3種クラブ・4種・女子・フットサル
- ⑧ … インフォメーション 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

訃報 ～松本暁司元会長の功績を振り返る

記念すべきSFA NEWSの100号のトップページではありますが、残念ながらお知らせを掲載させていただきます。このSFA NEWSを創刊しようと企画されたのも、松本元会長でした。常に埼玉のサッカーの発展、日本のサッカーの進歩を考えていた松本元会長のご冥福を心よりお祈りいたします。

去る9月2日、埼玉県サッカー協会元会長である松本暁司氏が逝去されました。85歳でした。

埼玉大学卒業後、埼玉県教育委員会在職中にGKとして日本代表となり、国際Aマッチ1試合出場。埼玉教員サッカークラブ(現、さいたまSC)、浦和クラブに所属し、チームではGKだけでなくFWとしてもプレーし、1967年の埼玉国体では選手として教員の部で優勝に貢献。また、この大会では少年の部で浦和南高校を率いて、監督としても優勝と前代未聞の活躍をされました。

指導者としては、前述の浦和南に創立時に赴任し、サッカー部を立ち上げました。この浦和南の躍進は1969年の高校三冠(高校総体、国体、高校選手権)を頂点に、全国に旋風を巻き起こしました。漫画「赤き血のイレブン」(原作/梶原一騎)のモデルにもなり、当時の子どもたちに「高校サッカー」という目標を示してくれました。

チームとしての結果を残すとともに、人材も育成し、永井良和氏(元日本代表FW、ジェフユナイテッド市原の監督などを歴任)、田嶋幸三氏(元日本代表FW、(公財)日本サッカー協会会長)などを輩出しました。さらには日本サッカー協会の育成にも尽力され、日本ユース代表の監督、コーチも歴任されました。

また埼玉県サッカー協会にも早くから関わり、理事長、会長と要職を務めて埼玉サッカーの発展に寄与されました。「浦和レッドダイヤモンズ」の創設、埼玉スタジアムの建設などにも尽力され、その功績は枚挙にいとまがありません。

松本先生、お疲れさまでした。そして、本当にありがとうございました。



特別座談会

「裾野を広げる」～SFAと共に～

浦和レッズ・立花洋一代表取締役 / 大宮アルディージャ・森正志代表取締役

「SFA NEWS」100号記念に、埼玉を代表するJクラブのトップ、お二人にお越しいただきました。お二人から改めて、埼玉サッカーへの思い、そしてSFAへの期待を語っていただきました。

(9月5日。司会進行／荒川裕治・広報委員)

埼玉の登録者数が大きなポテンシャル

—ご多忙の中、お時間をつくっていただき、恐縮です。本日はよろしくお祈いします。まずは、クラブの現状を含めながら、一言いただけますでしょうか。

立花 浦和レッズの立花です。昨年度、トップチームが天皇杯で優勝し、レディースの代表選手がFIFA U-20女子ワールドカップで優勝したこともあり、今年の6月に表彰していただきました(功労賞。99号で紹介)。その席にお招きいただき、我々は埼玉を代表しているんだということ、またSFAというのはこういう事業も行っているんだと知りました。改めて、SFAの中で活動しているんだという思いが強くなりました。関係者の皆さんとお話をする中でレッズへの期待を痛感しました。

今年はJリーグとACLのタイトルにチャレンジしているところですが、監督交代もあり、特にJリーグではなかなか結果を出せない状況にあります。しかしながら、我々に求められているのは常に勝利ですので、一戦一戦勝利を積み上げていきたいと思っています。

森 大宮アルディージャの森です。今回のお招きにあたり、SFAのホームページを改めて拝見しました。現在、「アルディージャビジョン2020」を遂行している中で、SFAのビジョンと同じだということを再確認しました。地域、クラブ、そしてチームの未来をどう考えるのか。思いは一緒です。

昨年、クラブ創設20周年を迎えましたが、その前年にJ2へ降格してしまい、2シーズンとなりました。今年度はなんとしてもJ1に復帰するんだと、チーム一丸となって懸命にやっているとこです。ただ、思い描いた順位ではありません。6位以内に入ってプレーオフを勝ち上



浦和レッズ代表取締役
立花 洋一 氏



大宮アルディージャ代表取締役
森 正志 氏

がるのではなく、自動昇格、それも優勝を勝ち取りたいと思っています。なんとしても「さいたまダービー」を復活させたいものです。

大宮の街を歩いていると、ファン、サポーターの皆さんから激励の言葉をいただきます。皆さんへの恩返しをするためにも、あと12試合、全力を尽くします。

立花 残り12試合なのですか。

森 そうなんですよ。もう30節が終わり、この時点で2、3、4位の勝ち点が並び、さらに1差で5、6位がいるので、1試合1試合で状況が変わります。

—今後の両チームのご活躍を楽しみにしております。さて、お二人にお聞きしたいのですが、今までの、また現状の埼玉サッカーについて、どう捉えていらっしゃいますか。

森 正直なところ、サッカーについては現在の職に就いてから学ぶようになりました。ただ、過去を遡ると高校サッカーは、浦和、市立浦和、そして浦和南高校が全国の頂点に立ち「サッカーの街・さいたま」は浦和を中心にして培ってきたというのは存じ上げています。

しかしながら、平成に入ってから高校選手権での優勝がないんですね。寂しいことです。子どもたちを見ていても、ポテンシャルは高いことを感じていますし、全国の選手登録数は889,956人。そのうちの55,937人は埼玉じゃないですか。全国2位ですよ。実際にプレーする方はシニアまでいらっしゃる。いかに根付いているのかがわかります。あとはそのポテンシャルを引き出していけるかどうか。アルディージャはSFAとともに子どもたちを育てていく活動をしていく所存です。そのためにも、アカデミーでもっと多くの子どもたちを育てて、埼玉そのものの知名度を上げていく必要があると思っています。

—他県と比べて、まだまだポテンシャルはありますね。だからこそ、より多くの子どもたちにサッカーを楽しんでもらえるよう、環境を整えていかなければならないと思いますね。

立花 私が茨城で育った時期、埼玉は中学も高校も強く、全中では浦和の大原、本太が出ていましたし、浦和南が選手権連覇した時期でした。「埼玉を制するものは全国を制す」という言葉がありましたが、これを伝説にするのではなく、未来永劫続けていくにはどうすればいいのかは、レッズとしても大きなテーマです。

そのためのひとつの取組みとして2014年からレッズランドでさいたま市浦和区を中心とした小学生チームに参加してもらい「レッズランドカップ」を開催しています。今年も浦和の少年団が決勝に残ったのですが、その中には優秀な選手がたくさんいました。他の参加チームにも優秀な選手がいて、改めて「これが浦



©N.O.ARDJA



©URAWA REDS



和だな」と感心させられています。

ただ県内の4種は強いですが、中学、高校とカテゴリーが上がるにつれて、いい選手が県外に出てしまっている。そんな中、今年は関東中学校大会で原山と南浦和が優勝、準優勝を果たし、原山が全国でもベスト8に入りました。——公立でここまでやれるというのは、すごいことです。そして先ほど、森社長からも出ましたが、登録人数の多さも魅力ですよ。ポテンシャルはあるんです。

そのポテンシャルを活かすべく、地元の子供たちの受け皿として「浦和レッズサッカー塾」を始めました。浦和レッズサッカー塾では選手登録をしませんので、ここで学んだ知識や技術を活かして、そのまま所属のチームで試合に出て、活躍してほしいと思っています。もちろんレッズのジュニアユース、ユースという道もありますが、さらに県内、市内の中学、高校でプレーして成長してくれることが、埼玉サッカーへの貢献になると思います。

また登録人数の話になりますが、埼玉県の人口は730万人。ですから登録人数は人口の1%に満たないんですね。むしろ九州各県の方が比率でいえば多いんです。これはJリーグの効果によるものだと思います。現在55クラブあり、競争が激しくなってきました。浦和の子どもたちをどのように育てていかなければならないのか。優秀な選手を数多く育てると共に、地元への愛情も強く持ってもらえるような取り組みが求められています。

森 見てみると、アルディージャだとU15からU18に昇格する時期に、そのままU18に行くのか、それとも高校選手権に出て活躍できる高校へ行くのか、子どもたちが選ぶようになりましたね。その選ぶ選択肢が他県でなく、県内の高校だったらいいですよ。そういう魅力を伝えていく必要性があると思うんです。

あとでも申し上げようと思っていましたが、SFAにとって、指導者の育成は大きな課題だと思います。そして、しっかりゲームメイクできる審判育成。もっともっと埼玉のサッカーを盛り上げてほしいのです。

そんな中で私たちはプロクラブとして活動していますが、アカデミーで受け入れられる子どもたちの数は限られています。裾野を広げるために県内でスクールを展開して、13か所、2,300人もの子どもたちがサッカーを楽しんでくれています。ここはまだまだ広げていけると考えています。埼玉のサッカーに貢献できるところだと思っているんですね。

立花 やはり裾野を広げることですね。レッズとしても「ハートフルスクール」を市内、県内、浦和レッズハートフルクラブの活動としては、海外まで展開させています。プロクラブとしての使命としてやってきましたが、これからはサッカーを楽しんでもらうと同様、いろいろな方に見てもらうというファン拡大も意識しています。

SFAは競技者だけを対象にするのではなく、サッカーを観るのが好きという方にもスポットを当ててほしいのです。浦和は特に高校サッカーが盛んです。そういう方たちと繋がることで、「埼玉サッカー」のファンを拡大してほしいと願っています。

これからトップチームのOBたちがアカデミーのスタッフとなっていくますが、さらに市内の中学校、高校の部活サポートに行く活動もやっていきたい。中体連、高体連との交流を進めて、埼玉で新たなモデルを作っていくことを考えています。

地域と、まちづくりと、ファンづくりと

——両クラブとも「裾野を広げる」という意識を高くお持ちだということがわかりました。そこで一つ、こちらから問題提起をさせていただいてもよろしいですか。「裾野を広げる」というのは、現状の広がりをさらに拡大していくということと解釈しました。では、現状でも課題とされている「少子化」を含めた、将来への課題についてはどのようにお考えでしょうか。

立花 少子化そのものについて語ることは難しい話になりますね。ただ浦和レッズとしては、子供が減っているという流れの中でも埼玉スタジアムに来ていただけるお客様をどう保ち、そしてどう増やしていくかが課題です。63,700人というキャパがある中で、小さい頃からレッズが好きになり、大人になってもホームゲームに駆けつけてくださる方をどうやって増やしていくかです。現状を踏まえて、どのようにしたらさらにサッカー人口を増やすことができるのか。サッカーそのものを社会貢献につなげることができないか。サッカーの魅力を浦和レッズなりのアプローチで最大化することで県民の皆さん、県外の皆さんから「サッカーのまち、浦和に住みたい」「レッズランドでサッカーを楽しみたい」と思っていただきたい。こうしたことにクラブ全体で前向きに取り組んでいます。

サッカーが好き、浦和レッズが好きという方が浦和に引っ越してくるという話をよく耳にします。現在、浦和美園地区では開発が進んでいます。地下鉄7号線の延伸も実現されれば今以上に活気づくのではないのでしょうか。レッズとしては、地域の皆さんと共にスポーツを通じた街づくりに取り組んでいるところです。やはり、今も将来も、サッカー、そして浦和レッズが大好きな方を増やすということが大きな目標です。

森 そうですね。現状の中で、「いかに増やすか」ですね。子どもたちが少なくなっていく中で、どう埼玉サッカーのレベル、クラブのレベルを上げていくかということと、サッカーを好きな子どもを増やすかということは、両輪のような気がします。

前者の「強化」という面では、やはり指導者が必要です。後者の「好きな子どもを増やす」に関しては、体験型と言っているのでしょうか、実際ボールを蹴ってもらうことだと思うのです。

特に、後者については、街中の広場でボール遊びができない状況です。ストリートサッカーでもできればいいのですが、安全面を考えると難しいですね。ですから、SFAから学校でボールを蹴ることができるような働きかけをしてほしいのです。そこでサッカーに興味、関心を持ってもらいたいのです。でも、いきな





りスタジアムは難しいでしょうから、DAZN で試合を観てもらって、その次にはスタジアムへ来てほしいのです。やはり、入り口を広げていくことによって、可能性が広がっていくと思っています。

大宮も「住みたい街ランキング」の上位に入り、街としての魅力は何かを考えるようになりました。そこに紐づけられた「サッカー」とはどういうものなのか、と。さらに大宮公園のグランドデザインにも関わらせていただき、計画を

実現するにはどうすればいいのかを考えています。

先ほど、浦和美園の話も出ましたが、練習グラウンドのある西大宮も開けてまいりまして、一万人以上人口が増えているそうです。

―ファンと選手たちの間での「観る、観られる」という関係は大事なことです。触れ合いがあれば、そのまま長くファンでいてもらえるでしょう。

森 そう、選手からサインとかもらえば、応援しようという気になると思うんですよ。

立花 人口が増えることはいいことです。サッカーのまちに生まれ、そのときから「サッカーボールが友達」という子どもが増えてくれば、それが埼玉サッカーの思いであり、願いじゃないですか。

―改めて、どうサッカーを身近に感じてもらえる環境を整えていくかが課題だということを感じました。

立花 そうなんです。レッズランドは、首都圏でも最大級の総合スポーツ施設です。ここの利用に関して、もっと SFA と話をしていかなければならないと考えています。平日の昼間の活用や大会運営についてなど、いろいろ課題はあります。

選手たちのセカンドキャリア考えて、学校との橋渡しを

―両クラブとは、本当にもっといろいろと話をしすり合わせをして、協力体制を整えていかなければならないと考えています。今回が、小さな一歩かもしれませんが、ここから改めて進めていくことができればと願っています。

すでにいろいろと課題が出てきており、SFA として取り組まなければならないことが見えてきたとも思っています。最後に SFA への注文でも、叱咤激励でも構いません。ご意見を頂戴できますか。

立花 今、Jリーグは過渡期に差ししかかっていると思います。神戸さんが楽天、鹿島さんがメルカリ、湘南さんもうライザップと、クラブに新しい資本が入ってきています。そんな中でレッズは魅力的であり続けなければいけません。

そこで考えなければならないのは、今まで以上に地域社会との連携を深めることです。SFA との連携もそうです。まさに今回がその一歩だと思っています。今、「さいたまスポーツコミッション」や「スポーツシュレ構想」にも協力していますが、クラブができて27年経ち、新しいチャレンジが必要だと。やはり、我々は日本の、埼玉のサッカーのために貢献しなければならないと思っています。アルディージャさんともいい連携をしていきたい。SFA を含めた三者の協力体制は不可欠だと思っています。よろしくお願いします。

森 今、2030 年に向けた新ビジョンを作成しているところです。この先の10年、どのようにクラブとして取り組んでいくのか。やはり「地域の皆さん」はキーワードになると思います。

今、立花社長からも話が出ましたが、アルディージャも「さいたまスポーツコミッション」で一緒にさせていただく中で、ネットワーク型のシュレを作っていくことができないのか、どう広がっていくのかを考えているところです。SFA と意見交換をしながら、共に取り組んでいければいいですね。

それで、叱咤激励という話になると「がんばってください」と

なるのですが(笑)、実際のところ、どういことがお困りなのかを示していただくのがよろしいかと思います。我々にもできることがあるのかどうか、もあります。

例えば、育成。SFA としても力を入れてくださっていますが、さらに進化するために、どういうコーチが必要なのでしょう。先ほども「もっと指導者を」と申しましたが、何か“絵”を描いていただけるとわかりやすいですね。共に作り上げていきたいものです。

あと、選手のセカンドキャリアサポートをお願いできないでしょうか。SFA は各学校との関係が深いと思います。アルディージャを最後に引退する選手は少ないのですが、以前アルディージャにいた選手たちが引退するにあたり、仕事は別に持つけれど、指導現場を持ちたいという声があるんですよ。

―セカンドキャリアですか。SFA としては、大学生選手に公認ライセンスを取得してもらい、中学校へ派遣するインターンシップを行っていた時期があります。なかなかマッチングが難しかったという反省もありましたが、内部で検討してもらおうと思います。

立花 プロにまでなった選手たちですから、能力は素晴らしいわけ。引退した後、どのようにしてその能力を活かすのか。道筋ができればいいですね。

―立花社長、レッズレディースの選手の皆さんたちは、仕事をしながらプレーされています。そういう面から見て、何かお考えはございますか。

立花 浦和レッズレディースの選手たちの就職については、ありがたいことに多くのお声掛けをいただいています。選手たちは礼儀正しいし、先輩や同僚に対してリスペクトできますからね。「ぜひうちに」と言ってくれる企業さんは多いですね。

今の話でいえば、男子のトップチームの選手経験を持っているならば、学校の中でもいろいろなことができるのではないのでしょうか。

森 選手個々とそういう話をしながら、将来的に選択肢が持てるようになるといいですね。

立花 こちらも学校関係でお願いしたいことを思いました。レディースについてです。先日もU-15の大会で優勝するなど、アカデミーには何人も優秀な選手がいます。SFA でも表彰していただいた選手も多く、本人たちは本当に喜んでます。

その選手たちですがそれぞれ学校に通っており、その学校には様々な形で協力していただいています。SFA からぜひ、選手たちが通っている学校へメッセージを送っていただくことは可能でしょうか。我々は子どもたちに夢や目標を与えるのが仕事です。選手たちが評価される仕組みを一緒になって作ってもらえるとありがたいですね。

―まったくできないことはありませんね。調整させてください。今回はいろいろと課題をいただきました。また、話をお聞かせください。

立花 今日は楽しいお話ができました。またやりましょう。我々も SFA の一員です。

森 こちらもです。特に普及、育成は協力させていただきます。―ありがとうございました。引き続き、よろしくお願いいたします。



国体関東ブロック大会～茨城国体振り返り

第74回国民体育大会サッカー競技 関東ブロック大会

8月10日から「第74回国民体育大会サッカー競技関東ブロック大会」が千葉県各地で開催されました。今年は成年男子、女子、少年男子ともに各3チームが茨城県で開催される「いきいき茨城ゆめ国体」に出場することになっており、全カテゴリーに期待がかけられました。しかしながら関東の壁は厚く、成年男子は1回戦

で敗退し、前年度本大会優勝の少年男子は最後の代表決定戦で神奈川県にPK戦で惜しくも敗れてしまいました。女子は本大会出場を決めました。厳しい戦いを強いられました。

各カテゴリーとも年々強化が難しくなっていますが、技術委員会を中心にしっかりと協力体制を構築していただき、来年はぜひ全カテゴリーで鹿児島国体に出場できるようお願いします。

●成年男子

1回戦（8月10日）

神奈川県 1 - 0 埼玉県

※神奈川県と群馬県が関東代表として本大会へ出場



成年男子



成年男子1回戦 埼玉 vs 山梨

●女子

1回戦（8月10日）

埼玉県 4 - 2 神奈川県

代表決定戦（8月11日）

東京都 1 - 0 埼玉県

代表決定戦（8月12日）

千葉県 1 - 1 埼玉県
(3PK4)

※女子は本大会出場



女子



女子1回戦 埼玉 vs 神奈川



女子代表決定戦 埼玉 vs 東京



女子1回戦 埼玉 vs 神奈川



女子代表決定戦 埼玉 vs 千葉

●少年男子

代表決定戦(8月10日)

埼玉県 2 - 3 千葉県

代表決定戦1回戦(8月11日)

埼玉県 1 - 1 栃木県
(8PK 7)

代表決定戦(8月12日)

埼玉県 1 - 1 神奈川県
(2PK 4)

埼玉 vs 千葉



埼玉 vs 栃木



埼玉県代表 少年男子



埼玉 vs 神奈川

成年男子

監督 岩館 侑哉 (Tokyo International University)

No.	位置	名前	チーム名
1	GK	中川 純太	Tokyo International University
3	DF	高橋那友太	東京国際大学体育会サッカー部
5	DF	南 大輔	東京国際大学体育会サッカー部
6	MF	條 洋介	株式会社日立ビルシステムサッカー部
7	FW	長島 昂平	Tokyo International University
8	MF	桶谷 亮太	大成シティーFC坂戸
9	FW	関根 琉楓	東京国際大学体育会サッカー部
10	MF	西野 隆男	Tokyo International University
11	FW	酒井 信磨	東京国際大学 FC
12	DF	三浦 健太	Tokyo International University
14	DF	和田 裕太	Tokyo International University
15	MF	川内 陽一	Tokyo International University
17	FW	加藤 壮磨	Tokyo International University
21	GK	須賀 貴大	東京国際大学 FC
22	DF	渋谷 由馬	Tokyo International University
29	DF	池田 大海	Tokyo International University

女子

監督 神戸慎太郎 (浦和レッドダイヤモンズレディースユース)

No.	位置	名前	チーム名
1	GK	福田 史織	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
2	DF	井之川 茉優	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
3	DF	三木 萌子	順天堂大学蹴球部
4	DF	長嶋 玲奈	浦和レッドダイヤモンズレディース
5	DF	久保真理子	東洋大学体育会サッカー部女子部
6	MF	柳澤 紗希	浦和レッドダイヤモンズレディース
7	DF	高橋 はな	浦和レッドダイヤモンズレディース
8	MF	島崎 結希	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
9	MF	遠藤 優	浦和レッドダイヤモンズレディース
10	FW	西村 紀音	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
11	FW	大熊 良奈	浦和レッドダイヤモンズレディース
13	FW	大西 若菜	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
14	MF	福田 莉子	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
16	GK	笹川すみれ	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
17	MF	柴山 史菜	浦和レッドダイヤモンズレディース
18	FW	植村 祥子	浦和レッドダイヤモンズレディース

少年男子

監督 田淵 常夫 (県立熊谷高等学校)

No.	位置	名前	チーム名
1	GK	西村 遥己	昌平高等学校
2	DF	田島 魁人	昌平高等学校
3	DF	大塚 天翔	正智深谷高等学校
4	DF	工藤 孝太	浦和レッドダイヤモンズユース
5	DF	大野 海翔	浦和レッドダイヤモンズユース
6	MF	戸田 大翔	浦和レッドダイヤモンズユース
7	MF	高橋 愛翔	大宮アルディージャU18
8	MF	島垣 翔	浦和レッドダイヤモンズユース
9	MF	山田 結斗	大宮アルディージャU18
10	FW	高橋 悠	浦和レッドダイヤモンズユース
11	FW	山崎 倫	大宮アルディージャU18
12	GK	松葉 遥風	昌平高等学校
13	DF	大井 勇人	大宮アルディージャU18
14	MF	佐藤 優哉	昌平高等学校
15	MF	川辺 球尊	大宮アルディージャU18
16	FW	須田康太郎	正智深谷高等学校

第74回国民体育大会サッカー競技

期日:2019年9月29日(日)~10月3日(木)

会場:茨城県

埼玉県からは、女子種別が出場し、第4位となりました。

1回戦 埼玉県 1 - 0 北海道

準々決勝 兵庫県 0 - 2 埼玉県

準決勝 三重県 3 - 1 埼玉県

3位決定戦 埼玉県 1 - 3 岡山県



表彰式



埼玉県代表 女子



1回戦 埼玉 vs 北海道



準々決勝 埼玉 vs 兵庫



準決勝 埼玉 vs 三重



3位決定戦 埼玉 vs 岡山

女子

監督 神戸慎太郎（浦和レッドダイヤモンズレディースユース）

No.	位置	名前	チーム名
1	GK	福田 史織	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
2	DF	井之川茉優	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
3	DF	三木 萌子	順天堂大学蹴球部
4	DF	渡邊莉沙子	花咲徳栄高等学校
5	DF	久保真理子	東洋大学体育会サッカー部女子部
6	MF	高木 優	花咲徳栄高等学校
7	DF	坂口 博美	浦和レッドダイヤモンズレディースジュニアユース
8	MF	島崎 結希	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
9	DF	高橋恵美理	日体大 FIELDS 横浜
10	FW	西村 紀音	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
13	FW	大西 若菜	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
14	MF	福田 莉子	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
16	GK	笹川すみれ	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
17	MF	竹田 真菜	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
18	FW	新澤 そら	浦和レッドダイヤモンズレディースユース

大会記録●県内大会

1種・社会人

第26回全国クラブチームサッカー選手権埼玉県大会

6月2日～7月28日 川口市青木公園陸上競技場他

東春72	0	6PK	0	1	FC Gois	2
北浦和SC	0	6PK	0	1	F.chidren	3
草加スポーツクラブ	1	4	3	1	FC DIABLO	1
GRANDE FC	2	4	8	1	幸手桜FC	0
FC O'timo	0	4PK	5	3	FC Garcelona越谷	3
与野蹴魂会	3	2	3	3	熊谷西サッカークラブ	1
川口FC	1	3	3	1	ACアルマレッザ入間	1
FC KAZO	不戦勝	1	3	2	FCソウル アルティスタ	2
					トコロザワ	

※優勝した与野蹴魂会が関東大会へ出場する

3種

高円宮杯JFA第31回全日本U-15サッカー選手権大会埼玉県予選

8月24日～9月23日 県内各地

●代表決定戦

CAアレグレ	1	第1代表	成立ゼブラ	0	第2代表
三郷Jr	0		1 FC	11	
プレジールSC入間	1	第3代表	ペレーニア	3	第4代表
原山中学校	3PK	1	フォルチFC	0	
FCコルージャ	0	第5代表	FC深谷	2	第6代表
FC FESTA	1		JOGADOR	延長	1

※第1～6代表と関東リーグ所属チームが関東大会へ出場する

3種・中体連

令和元年度学校総合体育大会中学校サッカーの部

7月20日～29日 浦和駒場スタジアム他

さいたま・原山	5	1	2	さいたま・南浦和	2
越谷・千間台	0	5PK	3	さいたま・白幡	1
蕨・第一	2	1	2	富士見・勝瀬	2
日高・高麗川	1	2	0	加須・大利根	0
新座・第二	1	3	1	さいたま・大原	1
川口・西	0	0	2	川口・戸塚西	2
熊谷・玉井	0	2	5	さいたま・常盤	5
さいたま・尾間木	4	2	0	杉戸	0

※優勝したさいたま市立原山中学校と準優勝のさいたま市立南浦和中学校が関東大会に出場する



優勝 原山中学校



準優勝 南浦和中学校



決勝 原山中 vs 南浦和中

女子

皇后JFA第41回全日本女子サッカー選手権大会埼玉県予選 兼 第39回埼玉県女子サッカー大会

6月23日～7月14日 SFAフットボールセンター

大東文化大学	2	5	6	2
川越水上公園1FCメニーナ	0	0	0	0
武蔵丘短期大学	5	2	2	1
東京国際大学	13	2	2	1
SEフィリア	0	0	0	0
DBFC	0	0	0	0
ちふれASエルフェン埼玉マリ	3	1	1	1

※優勝した武蔵丘短期大学が関東地区予選に出場する

令和元年度埼玉県高等学校女子サッカー選手権大会

8月21日～9月23日 埼玉スタジアム第2グラウンド他

●決勝トーナメント

花咲徳栄	15	6	南稜	8	1
正智深谷	0	0	松山女子	0	0
埼玉平成	1	0	杉戸農業	0	0
川口市立	3	0	山村学園	12	0
本庄第一	4	1	浦和西	4	0
和光国際	1	0	熊谷女子	0	3
寄居城北	0	0	浦和実業	3	4
入間向陽	11	0	久喜	7	0

●決勝リーグ

順位	学校名	勝点	勝	分	負	得失点差
1	花咲徳栄	9	3	0	0	16
2	本庄第一	6	2	0	1	3
3	南稜	3	1	0	2	0
4	久喜	0	0	0	3	-19

※優勝した花咲徳栄高校と準優勝の本庄第一高校は関東大会に出場する



優勝 花咲徳栄高校



準優勝 本庄第一高校



決勝リーグ 花咲徳栄 vs 南稜



決勝リーグ 本庄第一 vs 久喜

大会記録●県外大会

1種

天皇杯JFA第99回全日本サッカー選手権大会

8月14日 ケーズデンキスタジアム水戸・NACK5スタジアム大宮

3回戦 浦和レッドダイヤモンズ 2-1 水戸ホーリーホック
ヴィッセル神戸 4-0 大宮アルディージャ

9月25日 埼玉スタジアム2002

4回戦 浦和レッドダイヤモンズ 0-2 Honda FC

自治体

第48回全国自治体職員サッカー選手権大会～Jヴィレッジ復興記念～

7月28日～8月1日 Jヴィレッジ

1回戦 川口市役所 5-0 鳥取市役所

2回戦 所沢市役所 4-1 宇和島地区消防本部

静岡市役所 0-0 川口市役所
(1PK3)

3回戦 所沢市役所 1-0 岡山市役所

川口市役所 0-2 藤沢市役所

準々決勝 藤枝市役所 8-0 所沢市役所

※優勝は藤枝市役所

社会人

第26回全国クラブチームサッカー選手権関東大会

9月14日～16日 埼玉スタジアム2002第3グラウンド他

1回戦 富士吉田サッカークラブ 1-4 与野蹴魂会

準決勝 TOKYO CITY F.C. 2-1 与野蹴魂会

※優勝はTOKYO CITY F.C.

2種・高校

令和元年度全国高等学校総合体育大会男子サッカー競技大会

7月25日～8月1日 沖縄県各地

2回戦 高知高校 4-0 西武台高校

※優勝は桐光学園



西武台高校



2回戦 西武台 vs 高知

令和元年度全国高等学校定時制通信制体育大会第29回サッカー大会

8月2日～6日 静岡県各地

1回戦 兵庫県立西宮香風高校 0-0 武蔵野星城高校
(4PK2)栃木県立宇都宮高等学校 0-0 クラーク記念国際高校さいたまキャンパス
(5PK6)

2回戦 長尾谷高校(大阪府) 1-0 クラーク記念国際高校さいたまキャンパス

※優勝は都立世田谷泉高等学校

2種・クラブ

第43回 日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

7月21日～31日 味の素フィールド西が丘他

●グループステージ

Bグループ	大宮アルディージャU18	0-1	名古屋グランパスU-18
	大宮アルディージャU18	1-0	ヴィッセル神戸U-18
	サンフレッチェ広島F.Cユース	0-1	大宮アルディージャU18

※大宮アルディージャU18はグループ2位

Fグループ	浦和レッズユース	0-0	松本山雅FC U-18
	浦和レッズユース	2-1	モンテディオ山形ユース
	清水エスパルスユース	0-0	浦和レッズユース

※浦和レッズユースと清水エスパルスユースはグループ1位

●ラウンド16

	JFAアカデミー福島U-18	0-2	大宮アルディージャU18
	名古屋グランパスU-18	2-0	浦和レッズユース
準々決勝	大宮アルディージャU18	2-2	横浜F・マリノスユース
		(3PK4)	

※優勝は名古屋グランパスU-18

3種・中体連

第50回関東中学校サッカー大会

8月7日～9日 AGFフィールド他

1回戦	甲府市立城南中学校	0-2	さいたま市立南浦和中学校
	さいたま市立原山中学校	3-1	さくら市立氏家中学校(栃木県)
準々決勝	千葉市立幸町第二中学校	0-2	さいたま市立南浦和中学校
	品川区立荏原第一中学校	0-3	さいたま市立原山中学校
準決勝	修徳中学校(東京都)	0-2	さいたま市立南浦和中学校
	暁星国際中学校(千葉県)	2-2	さいたま市立原山中学校
		(1PK3)	
決勝	さいたま市立南浦和中学校	0-4	さいたま市立原山中学校

※優勝したさいたま市立原山中学校と準優勝のさいたま市立南浦和中学校が本大会に出場する

令和元年度全国中学校体育大会 第50回全国中学校サッカー大会

8月19日～24日 奈良県各地

1回戦	さいたま市立南浦和中学校	0-3	木津川市立木津南中学校(京都府)
	さいたま市立原山中学校	3-0	にかほ市立仁賀保中学校(秋田県)
2回戦	さいたま市立原山中学校	3-0	加東市立社中学校(兵庫県)
準々決勝	さいたま市立原山中学校	0-2	宮崎日本大学中学校(宮崎県)

※優勝は日章学園中学校(宮崎県)

3種・クラブ

第25回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 兼

第34回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会・関東予選

6月8日～7月7日 関東各地

1回戦	東松山ペレーニア	1-5	足利南毛ユナイテッド
	横浜FC戸塚	0-1	クラブ与野
	ブレジール入間	3-1	アイデンティみらい
	坂戸ディプロマッツ	5-0	グランデアメージングアカデミー
2回戦	Wings U-15	3-1	FC深谷
	FC杉野	0-0	大宮アルディージャU15
		(5PK4)	
	クマガヤSC	0-0	シュートFC
		(4PK2)	
	ブレジール入間	0-1	栃木SC
	柏レイソルU-15	4-2	クラブ与野
	LAVIDA FC	7-0	JSC CHIBA
	坂戸ディプロマッツ	1-1	浦和レッズジュニアユース
		(5PK3)	
	GRANDE FC	3-0	FC FESTA
	FC CORUJA	0-1	前橋FC
3回戦	クマガヤSC	0-1	ワセダクラブForza?02
	LAVIDA FC	7-0	境トリニタス
	VITTORIAS FC	3-1	坂戸ディプロマッツ
	GRANDE FC	1-1	FC東京U-15むさし
		(1PK4)	
ベスト16	LAVIDA FC	1-2	湘南ベルマーレ

●順位決定戦

	VITTORIAS FC	2-1	LAVIDA FC
	TOKYU S Reyes	0-1	LAVIDA FC

※優勝は横浜F・マリノス追浜。LAVIDA FCは14位で本大会出場

第34回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

8月15日～24日 幕別町陸上競技場他

●グループステージ

Jグループ	北海道コンサドーレ札幌U-15	1 - 3	FC LAVIDA
	横浜F・マリノスジュニアユース追浜	1 - 1	FC LAVIDA
	FC LAVIDA	9 - 0	レノヴェンスオガサFC(岩手県)

※FC LAVIDAはグループ1位

●ノックアウトステージ

ラウンド32	FC LAVIDA	6-0	サンフレッチェくにびきFC(島根県)
ラウンド16	NPO藤枝東FCジュニアユース(静岡県)	0-2	FC LAVIDA
準々決勝	FC東京U-15むさし	2-1	FC LAVIDA

※サガン鳥栖U-15が優勝

4種

2019 フジパンCUP第43回 関東少年サッカー大会 in 神奈川

8月23日～25日 大和ゆりの森芝生グラウンド他

Aブロック	ヴァンフォーレ甲府U-12	1-3	浦和レッズジュニア
	浦和レッズジュニア	0-0	東京ヴェルディジュニア

※浦和レッズジュニアはグループ1位

Cブロック	アブレイス千葉SC	2-3	レジスタFC
	レジスタFC	1-1	立川九小サッカークラブ

※レジスタFCはグループ2位

Fブロック	前橋ジュニア	2-5	江南南サッカー少年団
	エアフォルク山梨	1-1	江南南サッカー少年団

※江南南サッカー少年団はグループ1位

●1位トーナメント

1回戦	浦和レッズジュニア	0-2	PALAISTRA U-12(群馬県)
	大豆戸FC(神奈川県)	2-0	江南南サッカー少年団

※優勝は府中新町FC

女子

JFA 第24回全日本U-15女子サッカー選手権大会

7月27日～8月3日 J-GREEN堺

1回戦	1FC川越水上公園メニナU-15	1-2	FC ヴィトーリア
	ヴィクサーレ沖縄FCナビータユース	0-1	浦和レッズレディースジュニアユース
2回戦	FC みやぎ	0-5	浦和レッズレディースジュニアユース
準々決勝	マイナビガルタ仙台レディースジュニアユース	0-1	浦和レッズレディースジュニアユース
準決勝	スフィーダ世田谷FCユース	0-2	浦和レッズレディースジュニアユース
決勝	NGUラブリッジ名古屋スターチス	0-1	浦和レッズレディースジュニアユース

※浦和レッズレディースジュニアユースは7度目の優勝

フットサル

第15回全日本大学フットサル大会関東大会

7月6日 渋川総合公園体育館

1回戦	東京国際大学	0-10	多摩大学
-----	--------	------	------

※優勝は多摩大学体育会フットサル部

JFA 第6回全日本U-18フットサル選手権大会関東大会

6月23日～29日 小田原アリーナ他

●グループA

	デールさいたまU-18	0-6	SBFCロンドリーナU-18
--	-------------	-----	----------------

※優勝はフウガドールすみだファルコンズ

JFAバーモントカップ第29回全日本U-12フットサル選手権大会

8月10日～12日 駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館・屋内球技場

●グループI

	江南南サッカー少年団	6-6	西宮サッカースクール(兵庫県)
	板付ウイングSC(福岡県)	4-4	江南南サッカー少年団
	FCリベルダーデ山口(山口県)	3-10	江南南サッカー少年団

※プリンカールFC(愛知県)が優勝。江南南サッカー少年団はグループリーグ2位

JFA第16回全日本女子フットサル選手権大会関東大会

9月8日～14日 山梨県小瀬スポーツ公園体育館

1回戦	さいたまサイコロ	9-0	ブラジニア・フットサル・レディース(栃木県)
2回戦	さいたまサイコロ	4-4	シュートアニージャ(神奈川県)
		(1PK2)	

※優勝はバルドラール浦安ラス・ボニータス

インフォメーション

●2019年度 SMC サテライト講座 in 埼玉開催

今年度も「SMC サテライト講座 in 埼玉」を開催いたします。

セッション1・セッション2……2020年2月29日(土)

セッション3・セッション4……2020年3月7日(土)

セッション5・セッション6……2020年3月14日(土)

※時間は各日とも10時から18時の予定

受講対象者はクラブ運営にご興味のある方、実際に携わっている方です。サッカー以外の競技の方も歓迎します。定員は20名程度。場所はさいたま市内を予定しています。費用など詳細は決まり次第、公式ウェブサイトなどでご連絡いたします。

<プロモーション動画直リンク>

<https://youtu.be/Zh4ZnNiObgw>

<SMC サテライト講座ページ>

<http://www.jfa.jp/smc/satellite.html>

ぜひ、県内で同じような志を持つ皆さんとつながっていきたく思っています。多くの皆さんの受講をお待ちしております。



●全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2019 IBARAKI ウィニングイレブン 埼玉県代表決定戦

8月18日 埼玉スタジアム2002

【少年の部】

準決勝

浦和東高校B 1 - 5 浦和東高校A

クラークA 2 - 2 クラークB
(4PK5)

決勝

浦和東高校A 4 - 0 クラークB

【オープンの部】

準決勝

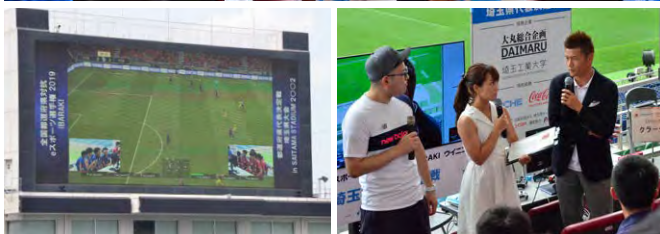
かすかべ防衛隊 0 - 1 埼玉セルフィー

こぼとん 4 - 3 ぶっとんで埼玉

決勝

埼玉セルフィー 0 - 1 こぼとん

※浦和東高校Aとこぼとんは、本大会に出場する



左：オープンの部代表 こぼとん 右：少年の部代表 浦和東高校A

●全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2019 IBARAKI ウィニングイレブン

「全国都道府県対抗 e スポーツ選手権」は第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」の文化プログラムとして開催され、e スポーツ大会としては全国で初めて47都道府県対抗として実施されました。大会初日は少年の部(高校生等)とオープンの部(年齢制限なし)の各48チームによるグループステージを開催。埼玉県代表は両チームとも健闘しましたが、決勝トーナメント進出はなりませんでした。

10月5・6日 つくば国際会議場

【少年の部】 予選リーグ(グループJ)

埼玉県 1 - 3 宮崎県

埼玉県 0 - 1 長崎県

埼玉県 1 - 0 東京都

※埼玉県はグループ3位で予選敗退

※優勝は青森県代表

【オープンの部】 予選リーグ(グループF)

埼玉県 2 - 4 静岡県

埼玉県 1 - 1 愛媛県

埼玉県 4 - 2 宮崎県

※埼玉県はグループ2位で予選敗退

※優勝は茨城県第二代表



●西野朗氏、佐々木則夫氏が日本サッカー殿堂に掲額

埼玉県所縁の現在タイ代表監督・西野朗氏(浦和西高校出・前日本代表監督)と、大宮アルディージャ・トータルアドバイザーでもある佐々木則夫氏(川口芝中～NTT 関東・前日本女子代表監督)が、岡田武史氏(元日本代表監督)とともに日本サッカー殿堂に掲額が決定、9月10日に名誉総裁高円宮妃殿下ご臨席の下、JFAハウスで掲額式典が挙行されました。



「SFA NEWS」は1997年(平成9年)4月15日に創刊号が発行されました。松本暁司理事長(当時)の「広く SFA の情報発信を」という長年の願いから、前年の秋にこのミッションがスタート。私は松本先生にお声かけをいただき、創刊号の立ち上げから長く取材・編集に携わることとなりました。このたびの松本先生の訃報に、驚きと悲しみを禁じえません。

創刊以来22年、100号を迎えることができました。ここに謹んで松本先生のご冥福をお祈りいたします。(藤田)

編集
後記